

令和2年(2020年)度定時総会 議案書

令和2年(2020年)5月17日(日)

13時30分～14時30分

日高市生涯学習センター(研修室)

特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク

第1号議案

令和元年度 事業報告書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク

1995年に活動を開始して以来、「あなたの家も水源地」をテーマに24年間流域の約300箇所で一斉水質調査を行ない、その結果を流域の関係団体や自治体等に情報提供してきた。その影響もあり、この24年間で入間川でのCOD(化学的酸素消費量)の平均数値は1/2～1/3と少なくなり、清流が戻ってきた。2009年からは、入間川・越辺川水系のアユの遡上環境改善についての意見書を埼玉県に提出するとともに、取水堰等の遡上環境調査を6年間実施してきた。その後設置された10箇所の魚道の効果調査と遡上環境改善に向けた仮設の遡上補助施設の設置活動を続けている。					
定款5条 事業名	事業内容	実施日	実施場所	従業者 人数(人)	受益者 人数(人)
① 流域環境に関する調査研究	・アユの標識・放流活動	5月17日	入間川 田島屋堰下流	8	12
	・天然アユ再生に向けた遡上環境改善活動と遡上環境調査（サイサン環境保全基金助成）	4月～10月 (82回)	入間川、都幾川、越辺川、高麗川、小畔川	延べ286	約3000
	・荒川流域一斉水質調査	6月2日	荒川流域、利根川右岸域	80	約1000
	・入間川一斉水質調査マップ作成（武州・入間川プロジェクト助成）	7～10月	荒川流域、利根川右岸域	30	約1000
② 流域環境人材育成 保全活動と	・県東松山農林振興センターとの魚道整備についての協議	2019/8/28 2020/3/18	東松山農林振興センター	5	約3000
	・こうのとりを育む活動に参加	4月～3月	鴻巣市	40	約1000
	・アユ漁文化を継承する体験イベントの開催（サイサン環境保全基金助成）	8月10日、8月18日、9月8日	都幾川、高麗川、越辺川	66	134
	・荒川上中流域でのクリーンエイド活動	10月20日 10月27日	荒川上中流域 (鶴ヶ島市実施、鴻巣市は台風のため中止)	約20	約2000
	・荒川太郎右衛門自然再生事業への参加	4月～3月	荒川自然再生地(上尾市、桶川市、川島町)	45	約1000
③ 流域連携形成に 関する 普及啓 ネット ワーク	・活動の紹介・発表	6/1～6/14、6/27、 2/22、3/2～3/8	鶴ヶ島市、東松山、川越市	6	1000
	・第24回流域再生シンポジウムの開催(中止)	3月22日	嵐山町	0	0
	・漁協との連携	4月～10月	入間漁協、埼玉西部漁協、武蔵漁協、埼玉南部漁協	10	1000
	・情報紙あらかわ1回発行	未発行	荒川全流域	0	0
	・水質調査結果の時系列データベース作り	4月～3月	川越市	5	2000
	・HP、FBによる情報発信	随時	荒川全流域	30	2000
④ 他流域との連携に関する情報発信と交流	・全国水環境マップ実行委員会に参加	12月7日	東京文化会館 (台東区)	1	2000

第2号議案

令和元年度 特定非営利活動に係る事業 活動計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク

単位:円

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 正会員受取会費		90,000	
2. 受取寄付金		212,000	
3 受取助成金			
1) (武州・入間プロジェクト助成) 入間川一斉水質調査及びマップ作成	150,144		
2) (サイサン環境保全基金助成) 天然アユ再生に向けた遡上環境改善活動と 遡上環境調査及びアユ漁文化を継承する体験イベントの開催	736,138	886,282	
4 事業収益		0	
5 預金利息		14	
経常収益計(A)			1,188,296
II 経常費用			
1 事業費			
1) (武州・入間川プロジェクト) 荒川流域一斉水質調査及びマップ作成	200,000		
2) (サイサン環境保全基金助成) 天然アユ再生に向けた遡上環境改善活動と 遡上環境調査及びアユ漁文化を継承する体験イベントの開催	900,000	1,100,000	
2 管理費			
1) 旅費交通費	115,892		
2) 事務費	93,014		
3) 通信運搬費	50,666		
4) 事務用消耗品費	93,078		
5) 広報費 広報誌(あらかわ制作印刷代)	0		
6) 各種団体会費	0		
7) 会議費	2,000		
8) ホームページ運営費	56,994		
9) 租税公課	0	411,644	
経常費用計(B)			1,511,644
①当期正味財産増減額 A)-B)			-323,348
②前期繰越正味財産額			2,027,644
次期繰り越し正味財産額			1,704,296

第3号議案

令和2年度 活動事業計画(案)

定款5条 事業名	事業内容	実施日	実施場所	従業者 人数 (人)	受益者 人数 (人)
① 流域環境に関する調査研究	・アユの標識・放流活動 (サイサン環境保全基金助成)	4月7日	入間川豊水橋床固め工上流 (実施済み)	17	20
	・入間川に設置された魚道の遡上環境改善活動 (サイサン環境保全基金助成)	3月～5月	菅間堰、浅間堰	延べ50	1000
	・入間川・越辺川水系に設置された魚道の効果調査 (サイサン環境保全基金助成)	4月～10月	入間川、都幾川、越辺川、 高麗川、小畔川	延べ150	1000
	・荒川流域一斉水質調査 (武州・入間川プロジェクト助成)	7月中(延期の可能性も)	荒川及び利根川の各支流 (約260ポイント)	80	1000
	・荒川流域水質調査マップ作成 (武州・入間川プロジェクト助成)	7月～10月	荒川及び利根川の各支流 (約260ポイント)	30	1000
	・都幾川の設置魚道の現地調査会	未定	矢来堰	10	3000
② 流域環境に材育する保全活動と	・県農林振興センターとの魚道整備計画の協議	未定	未定	6	3000
	・県の「川のはつらつプロジェクト」協議会へ出席 (東松山市)	未定	東松山市	4	3000
	・こうのとりを育む活動に参加	4月～3月	鴻巣市	25	約1000
	・魚捕り体験イベントの開催 (サイサン環境保全基金助成)	8月～9月	都幾川、高麗川、越辺川	60	200
	・荒川上中流域でのクリーンエイド活動	10月～11月	荒川上中流域 (鶴ヶ島市、鴻巣市、他)	約100	約2000
	・荒川太郎右衛門自然再生事業への参加	4月～年3月	荒川自然再生地 (桶川市、川島町、上尾市)	80	1000
③ 流域連携に関する普及啓発ネットワーク形成	・運営委員会の開催	毎月1回	鶴ヶ島市	100	100
	・第25回流域再生シンポジウムの開催	3月	嵐山町	10	55
	・漁協との連携	4月～3月	入間漁協・埼玉西部漁協、 武蔵漁協、埼玉南部漁協	10	約1000
	・活動の展示・発表	5月～3月	入間市・東松山市、鶴ヶ島市、 川越市他	5	2000
	・情報紙あらかわ1回発行	6月	荒川全流域	30	2000
	・HP、FBによる情報発信	随時	荒川全流域	50	2000
	・水質調査結果の時系列データベース作りの継続	随時	荒川全流域	2	1000
	・HPの充実と情報共有講習会の開催	随時	入間市、鶴ヶ島市	3	40
④ 他流域との連携に関する情報発信と交流	・全国水環境マップ実行委員会	12月	未定	5	2000

第4号議案

令和2年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算(案)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク

単位:円

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費収入		100,000	
2 事業収入		-	
3 寄付金収入		150,000	
4 助成金収入			
1) (サイサン環境保全基金) 入間川・越辺川水系に設置された魚道の効果調査と遡上環境改善活動及び魚捕りイベントの開催	650,000		
2) (武州・入間川プロジェクト助成) 入間川一斉水質調査及びマップ作成	136,950	786,950	
当期収入合計(A)			1,036,950
前期繰越収支差額			1,704,296
収入合計(B)			2,741,246
II 支出の部			
1 事業費			
1) 荒川流域再生シンポジウム	10,000		
2) (サイサン環境保全基金) 入間川・越辺川水系に設置された魚道の効果調査と魚捕りイベントの開催	700,000		
3) (武州・入間川プロジェクト助成) 入間川一斉水質調査及びマップ作成	150,000	860,000	
2 管理費			
1) 旅費交通費	100,000		
2) 事務費(倉庫賃借料を含む)	95,000		
3) 通信運搬費	40,000		
4) 事務用消耗品費	20,000		
5) 広報誌(あらかわ)制作印刷費	120,000		
6) 各種団体会費	-		
7) 会議費	5,000		
8) ホームページ運営費・移行費	50,000		
9) 租税公課	1,000	431,000	
当期支出合計(C)			1,291,000
当期収支差額(A)-(C)			-254,050
次期繰越収支差額(B)-(C)			1,450,246

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人荒川流域ネットワークの定款第 14 条により、令和元年度の事業報告及び決算書等、帳簿、証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、事業報告及び決算書類等、当該年度の業務執行状況、法人の財産管理および使途状況、当該年度における財政状態に関し監査したところ、すべて適正に表示がなされ、合法かつ正確であるものと認めました。

よって、定款第 14 条に定めるところにより、ここに監査報告をいたします。

令和 2 年 4 月 10 日

特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク

監事

柏木 美之



監事

高橋 潤

